



さっそくですが、「普通科高校である山門高校には特色がない。」そのようにお感じではありませんか？確かに「見えにくい」「伝わっていない」のかもしれませんが、「特色がない」ということはありません。断言します！ちょっと次の文章を読んでみてください。

7月31日～8月2日まで公務員インターンシップとして福岡県庁の工業保安課で勉強させていただきました。男性ばかりの部署で初めは緊張しました。7人分の電気工事士免許状作成、受付、パソコン入力等の作業をしました。部署の方々からとても可愛がってもらい、毎日通うのが楽しくて3日間がとても短く感じられました。貴重な経験をさせていただき、公務員になりたいという意志が一層強くなりました。夢の実現に向けて勉強を頑張ります。

これは、この夏休み中に福岡県庁で実施された高校生インターンシップに参加した2年生女子生徒の感想文です。すごいでしょ！勉強ってつらいですよ。でも「夢の実現に向けて勉強を頑張ります」と自分で言えるんですから。これなんです！これが山門高校なんですよ！

ボランティア部があるわけでもなく、年間何回参加しなさいと求めているわけでもありません。生徒はボランティアで地域に出ると、自分の成長に繋がると考えているし、成長のための貴重な経験にしようと積極的に動きます。山門高校の生徒は、求められると、地域に貢献しその中で自分を伸ばそうと、当たり前のように多くの生徒がボランティアで地域に出ることを希望します。この夏休みの初日からみやま市内の全小学校11校で実施されたサマースクールにも、「2年生で将来教育関係に進もうと希望している生徒」と限定しても、60名の生徒が希望し、小学生の学習サポートに当たってくれました。

このように、学校の外、つまり社会に出てみると志や夢、目標を具体的に描くことができる。そして、その実現に向けて勉強を頑張る。勉強に向かう原動力を学校の外に出てみて得てくる。すると「させられる勉強」ではなく「夢の実現に向けて自ら取り組む勉強」に変わっていく。高校生ってカッコいいでしょ。

そうなんです。「学校の外に出す（預ける）→大人社会で評価されるという“緊張の経験”をする→自分の適性や資質・能力に気づく／志を立てる、夢や目標を持つ→その実現に向けて学校でガチッと基礎学力がつくようサポートする」。これが“山門方式”！「生徒の将来の活躍の場である地域との連携」の中で生徒を育てるといふ、“山門方式”と言えるほどの“特色”があるんですよ。

こんな生徒が学校の“流れ”をつくっていきますから、多くの生徒が「学校が楽しい。山門は楽しい。」と言ってくれます。「生徒が主体的に行事を企画・運営することができるので、自分たちが楽しめるように企画して実施できる。だから行事が楽しい。」ある生徒が私に言ってくれた言葉です。

まだまだありますよ(^)

- 心の奥底、体の奥底からの笑顔、挨拶に溢れ、安心・安全、ハートフルな環境（明るく穏やか、温かな空気の中で教育活動が展開される）
- もちろん「理数コース」は最大の特色（これから本格化するAIの時代に、理数コース20名が活躍する！と楽しみにしています。だからますます魅力upの取組を検討中！）
- 一学年4クラス規模とは思えないほどの活気（陸上部、バドミントン部、サッカー部、剣道部、弓道部、卓球部、バレーボール部（男子）、ハンドボール部（女子）、放送弁論部が県大会に進出！常勝バドミントン部は山門を代表する部活動ですが、初心者が集まり、県大会進出の実力をつけるハンドボール部は女子生徒に校長おすすめ！）
- リーダーになるチャンスに溢れている（“伸びしろ”が大きく、それに夢を見て、着実に基礎学力をつけさせ、生徒の資質・能力がより伸長し、社会貢献・未来貢献できるであろうステージへと導き支える。もちろん中学校での授業参観などにより、常に良質の授業を目指しています！）
- リーダー育成のための同窓会の支援が手厚い（日本の次世代リーダー養成塾）など様々な取組への参加費補助）

こんな山門の雰囲気（教育環境）の中で、コツコツと頑張りたい！という皆さんをお待ちしています。最後になりましたが、お忙しい中、本日の体験入学へのご参加、誠にありがとうございます。

**魔法はない、愛情はある❤️ …… だから、山門にすればなんとかなる！**